



たつき新聞

第154号

平成26年6月1日発行



院長の自由帳

菅田 宗樹

これまで長年親しんで頂いている「たつき新聞」を、今月号よりリニューアルして安浦の施設も含め発行する事となりました。

いろいろと議論しましたが、手作り感が無くなるもの、より皆さんに読みやすくなればと業者に依頼する事となりました。

今回はこの機会に「たつき新聞」について述べてみたいと思います。過去の記録を調べてみましたが、正確でないかもしれませんが、平成13年11月からこのたつき新聞を発行しているのではないかと思います。私が医院を父から継承したのが平成12年4月ですからその約一年半後、医院や私の事と、職員の事、さらには病気の事や社会情勢など知って頂くというのが目的で始めました。

当初は白黒で写真もなく、ただの手紙のような物から始まりましたが、次第に写真を入れ、用紙や文字のサイズも拡大し、読みやすく変化してきました。そしてデイサービスセンターつばきを設立し、さらに変化を遂げてきました。当初はすべて私が書き、校正していましたが、パート別に担当者に記事を依頼し、現在では校正も職員に依頼しています。そしてこの度、ケアビレッジたつきを開設しましたのでさらにリニューアルした次第です。それぞれに色々な思いがあるので、全ての人に好評頂く事は難しいかもしれませんが、少しずつ改善しながらより良い物を作り上げて行ければと思っています。また、高齢者の方やパソコンが苦手な方には難しいかもしれませんが当法人ではホームページ（HP）を作成しそこにも「たつき新聞」を掲載しています。HPもリニューアルし、各施設の情報などさらに充実していますのでご覧頂ける方は検索してみてください。

毎月積み重ね、154号を発行する事が出来ました。これまでに様々な情報を掲載してきましたがこの度、法人内に実行委員会を設立し委員が新聞を担当する事になりました。

より充実し、より親しんで頂ける「たつき新聞」をめざしてこれからも進化していきますので、お気付きの点や要望などございましたら、遠慮なくお申し付け下さい。

さて、話が変わりますが、水曜日の診療が泌尿器科専門の小林先生に代わり、木曜日の診療には血液内科専門の伊藤先生と外科の私と二人体制で、さらに皆さんにとって充実した診療が提供できるものと思っています。

また、お二人の先生は私同様総合医として専門以外にも幅広く診療のできる先生です。以前から当院で取り組んでいる湿潤治療にも長けている先生方ですから遠慮なくご相談され診療を受けられて下さい。私が診る診療時間が減りますが、施設や在宅診療の対応、これまで出来なかった取り組みを始めていきたいと考えています。

最後になりますが、コンピューターサポートの終了に伴い医院では、診療内容入力や計算レントゲンなどの機器の入れ換えをしました。不慣れな為時間が掛かっている状況があります。職員も努力してくれています。しばらくの間温かく見守って頂ければ幸いです。大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。

院長の一言と名【迷】言

【生命】生まれてくる命、

生きる命

最近、身近なところで出産が続いています。命を授かり大切に時間を育んでいかなければなりません。その反面、その命の終わりも必ず訪れます。沢山の生命を診て教えていただくことも沢山あります。

医療法人社団 たつき会 菅田医院

デイサービスセンター つばき

皆さんももちろんご存知かと思いますが、「デイサービスセンターつばき」でも3月、4月に職員の配置えがありました。

新たな利用者さんとの出会いもありました。新たな「つばき」で皆さんに楽しんで頂けるよう、スタッフ一同、今以上に盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

4月22日（火）

春の大運動会が開催されました。利用者さんによるパン食い競争やスタッフによる二人三脚など大いに盛り上がりしました。

今年はずすかな差で白組が優勝しました。



今月の行事予定

6月7日(土)

13:45~
ボランティアの
皆さんによる

和太鼓演奏

6月17日(火)

14:00~
手作りおやつ

院内 得 情報

食中毒対策の基本となるのは「つちなご」「増やなご」「殺菌onon」です。生鮮食品などに元々ついている細菌が手や調理器具などを介して他の食品につります。

感染を防ぐためには、正しい手洗いや台所の衛生管理を徹底することが重要です。多くの細菌は温度10〜60℃で増殖します。

細菌を増やさないためには冷蔵庫や冷凍庫での「低温保存」が必要です。ほとんどの細菌は75℃で1分間以上加熱すると死滅します。食品はよく加熱し、布巾やまな板など調理器具は熱湯や漂白剤で殺菌しましょう。



